

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年12月12日

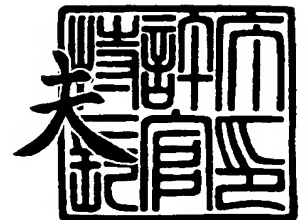
出願番号
Application Number: 特願2002-360878
[ST. 10/C]: [JP 2002-360878]

出願人
Applicant(s): セイコーエプソン株式会社

2003年10月23日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康夫



出証番号 出証特2003-3087728



【書類名】 特許願

【整理番号】 J0096312

【提出日】 平成14年12月12日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/16

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県諏訪市大和 3 丁目 3 番 5 号 セイコーエプソン株式会社内

 【氏名】 青木 三喜男

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県諏訪市大和 3 丁目 3 番 5 号 セイコーエプソン株式会社内

 【氏名】 深尾 明人

【特許出願人】

 【識別番号】 000002369

 【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100066980

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 森 哲也

【選任した代理人】

 【識別番号】 100075579

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 内藤 嘉昭

【選任した代理人】

 【識別番号】 100103850

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 崔 秀▲てつ▼



【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001638

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0014966

【プルーフの要否】 要



【書類名】 明細書

【発明の名称】 デバイス管理システム、デバイス管理端末、ネットワークデバイス、端末用プログラム及びデバイス用プログラム、並びにデバイス管理方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークデバイスを通信可能に接続したシステムであって、

前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信したときは、受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定し、その選定結果に基づいて、前記ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信するようになっていることを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項 2】 ネットワークデバイスと、前記ネットワークデバイスを管理するデバイス管理端末とを通信可能に接続したシステムであって、


前記デバイス管理端末は、前記ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを記憶するためのモジュール記憶手段と、前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信するデバイス情報受信手段と、前記デバイス情報受信手段で受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定する機能選定手段と、前記機能選定手段で選定した機能に対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出すモジュール読出手段と、前記モジュール読出手段で読み出した機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信するモジュール送信手段とを有し、

前記ネットワークデバイスは、前記デバイス情報を記憶するためのデバイス情報記憶手段と、前記デバイス情報記憶手段のデバイス情報を前記デバイス管理端末に送信するデバイス情報送信手段と、前記機能提供モジュールを受信するモジュール受信手段と、前記モジュール受信手段で受信した機能提供モジュールを実行するモジュール実行手段とを有することを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項 3】 請求項 2 において、

複数の前記ネットワークデバイスを通信可能に接続し、

前記機能提供モジュールは、他の前記ネットワークデバイスと連携して提供さ



れる機能を実現するためのモジュールであることを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項 4】 請求項 3 において、

前記ネットワークデバイスは、さらに、他の前記ネットワークデバイスから前記デバイス情報を取得するデバイス情報取得手段を有し、

前記デバイス情報送信手段は、前記デバイス情報記憶手段のデバイス情報及び前記デバイス情報取得手段で取得したデバイス情報を前記デバイス管理端末に送信するようになっていることを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項 5】 請求項 2 乃至 4 のいずれかにおいて、

前記デバイス管理端末は、さらに、前記機能選定手段で選定した機能のなかからいずれか又は複数の機能をユーザに選択させる機能選択手段を有し、

前記モジュール読出手段は、前記機能選択手段で選択された機能に対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出すようになっていることを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項 6】 請求項 5 において、

前記機能選択手段は、前記機能選定手段で選定した機能のなかからいずれか又は複数の機能が選択可能となる G U I 画面を生成し、生成した G U I 画面をユーザに提示して前記いずれか又は複数の機能を選択させるようになっていることを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項 7】 請求項 2 乃至 6 のいずれかにおいて、

前記デバイス情報は、前記ネットワークデバイスの種別を一意に特定するためのデバイス種別 I D を含み、

前記機能選定手段は、前記デバイス種別 I D と対応付けて機能を登録した機能登録テーブルに基づいて、前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定するようになっていることを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項 8】 請求項 2 乃至 7 のいずれかにおいて、

前記モジュール記憶手段は、前記機能提供モジュールをユーザ I D と対応付けて記憶するようになっており、

前記デバイス管理端末は、さらに、前記ユーザ I D を受信するユーザ I D 受信

手段と、前記ユーザID受信手段で受信したユーザIDに対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出す第2モジュール読出手段と、前記第2モジュール読出手段で読み出した機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信する第2モジュール送信手段とを有し、

前記ネットワークデバイスは、さらに、前記ユーザIDを記憶するためのユーザID記憶手段と、前記ユーザID記憶手段のユーザIDを前記デバイス管理端末に送信するユーザID送信手段とを有することを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項9】 請求項8において、

前記デバイス管理端末は、さらに、前記機能提供モジュールの提供を制限する提供制限手段を有し、

前記提供制限手段は、前記ユーザIDに基づき前記ネットワークデバイスに提供した機能提供モジュールについては、これと同一のユーザIDに基づく再アクセスに対して提供することを禁止するようになっていることを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項10】 請求項8において、

前記デバイス管理端末は、さらに、前記機能提供モジュールの提供を制限する提供制限手段を有し、

前記提供制限手段は、前記各ユーザIDごとに前記機能提供モジュールの提供範囲を規定し、前記ユーザIDに基づき前記ネットワークデバイスに提供した機能提供モジュールと同一の機能提供モジュールについては、そのユーザIDに対応する提供範囲を超えた提供を禁止するようになっていることを特徴とするデバイス管理システム。

【請求項11】 請求項2記載のデバイス管理システムにおけるネットワークデバイスに通信可能に接続する端末であって、

前記ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを記憶するためのモジュール記憶手段と、前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信するデバイス情報受信手段と、前記デバイス情報受信手段で受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定す

る機能選定手段と、前記機能選定手段で選定した機能に対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出すモジュール読出手段と、前記モジュール読出手段で読み出した機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信するモジュール送信手段とを備えることを特徴とするデバイス管理端末。

【請求項 12】 請求項 2 記載のデバイス管理システムにおけるデバイス管理端末に通信可能に接続するデバイスであって、

当該ネットワークデバイスに関するデバイス情報を記憶するためのデバイス情報記憶手段と、前記デバイス情報記憶手段のデバイス情報を前記デバイス管理端末に送信するデバイス情報送信手段と、当該ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを受信するモジュール受信手段と、前記モジュール受信手段で受信した機能提供モジュールを実行するモジュール実行手段とを備えることを特徴とするネットワークデバイス。

【請求項 13】 コンピュータからなる請求項 11 記載のデバイス管理端末ラムに実行させるためのプログラムであって、

前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信するデバイス情報受信手段、前記デバイス情報受信手段で受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定する機能選定手段、前記機能選定手段で選定した機能に対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出すモジュール読出手段、及び前記モジュール読出手段で読み出した機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信するモジュール送信手段として実現される処理を実行させるためのプログラムであることを特徴とする端末用プログラム。

【請求項 14】 コンピュータからなる請求項 12 記載のネットワークデバイスに実行させるためのプログラムであって、

前記デバイス情報記憶手段のデバイス情報を前記デバイス管理端末に送信するデバイス情報送信手段、当該ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを受信するモジュール受信手段、及び前記モジュール受信手段で受信した機能提供モジュールを実行するモジュール実行手段として実現される処理を実行させるためのプログラムであることを特徴とするデバイス用プログラ

ム。

【請求項 1 5】 ネットワークデバイスを通信可能に接続し、前記ネットワークデバイスを管理する方法であって、

前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信したときは、受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定し、その選定結果に基づいて、前記ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信することを特徴とするデバイス管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークデバイスを管理するシステムおよび方法、並びにそれに適用する端末、デバイスおよびプログラムに係り、特に、専門的な知識を要せずにネットワークデバイスの機能を変更することができるとともに、機能変更に必要な手間や時間を低減することができ、しかも納期の短縮化を図るのに好適なデバイス管理システム、デバイス管理端末、ネットワークデバイス、端末用プログラムおよびデバイス用プログラム、並びにデバイス管理方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、ネットワーク対応のプリンタやスキャナ等のネットワークデバイスを管理する技術としては、例えば、特許文献 1 に開示されている機器機能変更方法があった。

この機器機能変更方法は、ネットワークデバイスとデバイス管理サーバとを通信可能に接続し、ネットワークデバイスの表示部に機能や宛先を表示し、ユーザが入力部によりデータや機能を選択することにより、デバイス管理サーバからユーザの利用形態に合わせた処理プログラム、プリンタドライバやデータフォーマット変換プログラム、メール送信アプリケーション等をダウンロードし、ネットワークデバイスの記憶部に格納するように構成する。

【0 0 0 3】

これにより、ネットワークデバイス内のROMを交換することなく機能を変更することが可能となる。

【0004】

【特許文献1】

特開平11-39165号公報

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

上記従来の機器機能変更方法にあつては、ユーザは、デバイス管理サーバが管理している多種・多数のプログラムのなかから自己のネットワークデバイスに適用可能なものを把握し、それをダウンロードして初めてネットワークデバイスの機能を変更することができる。したがって、ネットワークデバイスの機能を適切に変更するには、ネットワークデバイスに関する専門的な知識が要求されるとともに、プログラムの選定およびダウンロードといった操作が必要となり手間や時間を要する。

【0006】

また一方、顧客の要求に応じて機能を個別にカスタマイズしたネットワークデバイスを設計しようとした場合には、顧客の要求分析、ネットワークデバイスの仕様検討、ハードウェアの開発およびソフトウェアの開発の4つの工程を経る必要がある。設計内容にもよるが、一例として、要求分析に1ヶ月、仕様検討に1ヶ月、ハードウェア開発に6ヶ月、ソフトウェア開発に4ヶ月の期間を要し、ハードウェア開発およびソフトウェア開発を並行に行えるにしても、顧客からの要望があつてから納品までに8ヶ月もの歳月を費やしてしまう。

【0007】

そこで、本発明は、このような従来の技術の有する未解決の課題に着目してなされたものであつて、専門的な知識を要せずにネットワークデバイスの機能を変更することができるとともに、機能変更に要する手間や時間を低減することができる、しかも納期の短縮化を図るのに好適なデバイス管理システム、デバイス管理端末、ネットワークデバイス、端末用プログラムおよびデバイス用プログラム、並びにデバイス管理方法を提供することを目的としている。

【0008】**【課題を解決するための手段】****〔発明1〕**

上記目的を達成するために、発明1のデバイス管理システムは、ネットワークデバイスを通信可能に接続したシステムであって、前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信したときは、受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定し、その選定結果に基づいて、前記ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信するようになっていることを特徴とする。

【0009】

このような構成であれば、デバイス情報を受信すると、受信したデバイス情報に基づいてネットワークデバイスが利用可能な機能が選定され、その選定結果に基づいて機能提供モジュールがネットワークデバイスに送信される。

ネットワークデバイスでは、機能提供モジュールを受信すると、受信した機能提供モジュールが実行されることにより機能が実現される。

【0010】

これにより、ネットワークデバイスをネットワークに接続するだけで、利用可能な機能を実現するための機能提供モジュールがそのネットワークデバイスに組み込まれるので、従来に比して、専門的な知識をさほど要せずにネットワークデバイスの機能を比較的容易に変更することができるとともに、機能提供モジュールの組込操作が簡単となるので、機能変更に要する手間や時間を比較的低減することができるという効果が得られる。

【0011】

また、顧客の要求に応じて機能を個別にカスタマイズしたネットワークデバイスを設計しようとした場合には、一般的な機能を実現するハードウェアおよびソフトウェアをあらかじめ開発し、それを組み込んだネットワークデバイスを量産しておく。そして、顧客からの要望があったときは、要求分析および仕様検討を行い、一般的な機能以外の個別の機能が必要な場合は、その機能をソフトウェア

にて実現する。すなわち、要求分析および仕様検討の後は、個別の機能を実現するための機能提供モジュールを作成すればよいことになる。

【0 0 1 2】

これにより、ソフトウェア開発の一部およびハードウェア開発を顧客からの要望がある前に行うことができるので、従来に比して、納期の短縮化を図ることができるという効果も得られる。

ここで、ネットワークデバイスが通信可能に接続する形態としては、本システムとネットワークデバイスとが直接接続することのほか、本システムとネットワークデバイスとが他の端末を介して間接的に接続することも含まれる。以下、発明 2 のデバイス管理システムにおいて同じである。

【0 0 1 3】

また、本システムは、単一の装置として実現するようにしてもよいし、複数の端末を通信可能に接続したネットワークシステムとして実現するようにしてもよい。後者の場合、各構成要素は、それぞれ通信可能に接続されていれば、複数の端末のうちどの端末に属していてもよい。

〔発明 2〕

さらに、発明 2 のデバイス管理システムは、

ネットワークデバイスと、前記ネットワークデバイスを管理するデバイス管理端末とを通信可能に接続したシステムであって、

前記デバイス管理端末は、前記ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを記憶するためのモジュール記憶手段と、前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信するデバイス情報受信手段と、前記デバイス情報受信手段で受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定する機能選定手段と、前記機能選定手段で選定した機能に対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出すモジュール読出手段と、前記モジュール読出手段で読み出した機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信するモジュール送信手段とを有し、

前記ネットワークデバイスは、前記デバイス情報を記憶するためのデバイス情報記憶手段と、前記デバイス情報記憶手段のデバイス情報を前記デバイス管理端

末に送信するデバイス情報送信手段と、前記機能提供モジュールを受信するモジュール受信手段と、前記モジュール受信手段で受信した機能提供モジュールを実行するモジュール実行手段とを有することを特徴とする。

【0014】

このような構成であれば、ネットワークデバイスでは、デバイス情報送信手段により、デバイス情報記憶手段のデバイス情報がデバイス管理端末に送信される。

デバイス管理端末では、デバイス情報受信手段によりデバイス情報を受信すると、機能選定手段により、受信したデバイス情報に基づいてネットワークデバイスが利用可能な機能が選定される。そして、モジュール読出手段により、選定された機能に対応する機能提供モジュールがモジュール記憶手段から読み出され、モジュール送信手段により、読み出された機能提供モジュールがネットワークデバイスに送信される。

【0015】

ネットワークデバイスでは、モジュール受信手段により機能提供モジュールを受信すると、モジュール実行手段により、受信した機能提供モジュールが実行されることにより機能が実現される。

これにより、ネットワークデバイスをネットワークに接続するだけで、利用可能な機能を実現するための機能提供モジュールがそのネットワークデバイスに組み込まれるので、従来に比して、専門的な知識をさほど要せずにネットワークデバイスの機能を比較的容易に変更することができるとともに、機能提供モジュールの組込操作が簡単となるので、機能変更に要する手間や時間を比較的低減することができるという効果が得られる。

【0016】

また、顧客の要求に応じて機能を個別にカスタマイズしたネットワークデバイスを設計しようとした場合には、一般的な機能を実現するハードウェアおよびソフトウェアをあらかじめ開発し、それを組み込んだネットワークデバイスを量産しておく。そして、顧客からの要望があったときは、要求分析および仕様検討を行い、一般的な機能以外の個別の機能が必要な場合は、その機能をソフトウェア

にて実現する。すなわち、要求分析および仕様検討の後は、個別の機能を実現するための機能提供モジュールを作成すればよいことになる。

【0017】

これにより、ソフトウェア開発の一部およびハードウェア開発を顧客からの要望がある前に行うことができるので、従来に比して、納期の短縮化を図ることができるという効果も得られる。

ここで、モジュール記憶手段は、機能提供モジュールをあらゆる手段でかつあらゆる時期に記憶するものであり、機能提供モジュールをあらかじめ記憶してあるものであってもよいし、機能提供モジュールをあらかじめ記憶することなく、本システムの動作時に外部からの入力等によって機能提供モジュールを記憶するようになっていてもよい。このことは、デバイス情報記憶手段にデバイス情報を記憶する場合についても同様である。

【0018】

また、デバイス管理端末は、ネットワークデバイスとの通信路の一端に接続する通信設備であって少なくともサーバ機能を有するものであればよく、クライアント機能およびサーバ機能の両方を有するものとして構成することもできる。

〔発明3〕

さらに、発明3のデバイス管理システムは、発明2のデバイス管理システムにおいて、

複数の前記ネットワークデバイスを通信可能に接続し、

前記機能提供モジュールは、他の前記ネットワークデバイスと連携して提供される機能を実現するためのモジュールであることを特徴とする。

【0019】

このような構成であれば、ネットワークデバイスでは、モジュール実行手段により機能提供モジュールが実行されると、他のネットワークデバイスと連携して提供される機能が実現される。例えば、適用対象のネットワークデバイスがプリンタであり、利用可能なネットワークデバイスとしてスキャナが存在する場合は、プリンタとスキャナとが連携してコピー機能またはFAX機能が実現される。

【0020】

これにより、他のネットワークデバイスと連携して提供される機能を利用するにあたって、ユーザは、専門的な知識をさほど必要としないので、他のネットワークデバイスと連携して提供される機能を比較的容易に利用することができるという効果も得られる。

〔発明 4〕

さらに、発明 4 のデバイス管理システムは、発明 3 のデバイス管理システムにおいて、

前記ネットワークデバイスは、さらに、他の前記ネットワークデバイスから前記デバイス情報を取得するデバイス情報取得手段を有し、

前記デバイス情報送信手段は、前記デバイス情報記憶手段のデバイス情報および前記デバイス情報取得手段で取得したデバイス情報を前記デバイス管理端末に送信するようになっていることを特徴とする。

【0021】

このような構成であれば、ネットワークデバイスでは、デバイス情報取得手段により、他のネットワークデバイスからデバイス情報が取得され、デバイス情報送信手段により、デバイス情報記憶手段のデバイス情報および取得されたデバイス情報がデバイス管理端末に送信される。

デバイス管理端末では、デバイス情報受信手段によりそれらデバイス情報を受信すると、機能選定手段により、受信したそれらデバイス情報に基づいて、ネットワークデバイスが利用可能な機能であって複数のネットワークデバイスが連携して提供されるものが選定される。

【0022】

これにより、他のネットワークデバイスと連携して提供される機能を利用するにあたって、ユーザは、他のネットワークデバイスに関する情報を入手しなくともすむので、他のネットワークデバイスと連携して提供される機能をさらに容易に利用することができるという効果も得られる。

〔発明 5〕

さらに、発明 5 のデバイス管理システムは、発明 2 ないし 4 のいずれかのデバイス管理システムにおいて、

前記デバイス管理端末は、さらに、前記機能選定手段で選定した機能のなかからいずれかまたは複数の機能をユーザに選択させる機能選択手段を有し、

前記モジュール読出手段は、前記機能選択手段で選択された機能に対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出すようになっていることを特徴とする。

【0 0 2 3】

このような構成であれば、デバイス管理端末では、機能選択手段により、選定された機能のなかからいずれかまたは複数の機能をユーザに選択させる。ここで、ユーザが機能を選択すると、モジュール読出手段により、選択された機能に対応する機能提供モジュールがモジュール記憶手段から読み出される。

これにより、ネットワークデバイスが利用可能な機能のなかからユーザが所望するものを選択すればよいので、ネットワークデバイスの機能をさらに容易に変更することができるという効果も得られる。

〔発明 6〕

さらに、発明 6 のデバイス管理システムは、発明 5 のデバイス管理システムにおいて、

前記機能選択手段は、前記機能選定手段で選定した機能のなかからいずれかまたは複数の機能が選択可能となる G U I 画面を生成し、生成した G U I 画面をユーザに提示して前記いずれかまたは複数の機能を選択させるようになっていることを特徴とする。

【0 0 2 4】

このような構成であれば、デバイス管理端末では、機能選択手段により、選定された機能のなかからいずれかまたは複数の機能が選択可能となる G U I 画面が生成され、生成された G U I 画面をユーザに提示していずれかまたは複数の機能を選択させる。

これにより、ユーザは、G U I 画面において機能を選択することができるので、機能の選択を比較的容易に行うことができるという効果も得られる。

〔発明 7〕

さらに、発明 7 のデバイス管理システムは、発明 2 ないし 6 のいずれかのデバ

イス管理システムにおいて、

前記デバイス情報は、前記ネットワークデバイスの種別を一意に特定するためのデバイス種別 ID を含み、

前記機能選定手段は、前記デバイス種別 ID と対応付けて機能を登録した機能登録テーブルに基づいて、前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定するようになっていることを特徴とする。

【0025】

このような構成であれば、デバイス管理端末では、デバイス情報を受信すると、受信したデバイス情報にはデバイス種別 ID が含まれているので、機能選定手段により、受信したデバイス種別 ID に対応する機能が機能登録テーブルを参照して選択されることにより、ネットワークデバイスが利用可能な機能が選定される。

【0026】

これにより、ネットワークデバイスの種別単位で機能提供モジュールを管理することができるので、ネットワークデバイスの種別に応じて比較的適切な機能を提供することができるという効果も得られる。

〔発明 8〕

さらに、発明 8 のデバイス管理システムは、発明 2 ないし 7 のいずれかのデバイス管理システムにおいて、

前記モジュール記憶手段は、前記機能提供モジュールをユーザ ID と対応付けて記憶するようになっており、

前記デバイス管理端末は、さらに、前記ユーザ ID を受信するユーザ ID 受信手段と、前記ユーザ ID 受信手段で受信したユーザ ID に対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出す第 2 モジュール読出手段と、前記第 2 モジュール読出手段で読み出した機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信する第 2 モジュール送信手段とを有し、

前記ネットワークデバイスは、さらに、前記ユーザ ID を記憶するためのユーザ ID 記憶手段と、前記ユーザ ID 記憶手段のユーザ ID を前記デバイス管理端末に送信するユーザ ID 送信手段とを有することを特徴とする。

【0027】

このような構成であれば、ネットワークデバイスでは、ユーザID送信手段により、ユーザID記憶手段のユーザIDがデバイス管理端末に送信される。

デバイス管理端末では、ユーザID受信手段によりユーザIDを受信すると、第2モジュール読出手段により、受信したユーザIDに対応する機能提供モジュールがモジュール記憶手段から読み出され、第2モジュール送信手段により、読み出された機能提供モジュールがネットワークデバイスに送信される。

【0028】

ネットワークデバイスでは、モジュール受信手段により機能提供モジュールを受信すると、モジュール実行手段により、受信した機能提供モジュールが実行される。

これにより、ネットワークデバイスおよびデバイス管理端末の両方に共通のユーザIDを登録しておくだけで、利用可能な機能を実現するための機能提供モジュールがそのネットワークデバイスに組み込まれるので、ネットワークデバイスの機能をさらに容易に変更することができるとともに、機能提供モジュールの組込操作が簡単となるので、機能変更に要する手間や時間をさらに低減することができるという効果も得られる。

【0029】

ここで、ユーザID記憶手段は、ユーザIDをあらゆる手段でかつあらゆる時期に記憶するものであり、ユーザIDをあらかじめ記憶してあるものであってもよいし、ユーザIDをあらかじめ記憶することなく、本システムの動作時に外部からの入力等によってユーザIDを記憶するようになっていてもよい。

〔発明9〕

さらに、発明9のデバイス管理システムは、発明8のデバイス管理システムにおいて、

前記デバイス管理端末は、さらに、前記機能提供モジュールの提供を制限する提供制限手段を有し、

前記提供制限手段は、前記ユーザIDに基づき前記ネットワークデバイスに提供した機能提供モジュールについては、これと同一のユーザIDに基づく再アク



セスに対して提供することを禁止するようになっていることを特徴とする。

【0030】

このような構成であれば、デバイス管理端末では、提供制限手段により、ユーザIDに基づきネットワークデバイスに提供した機能提供モジュールについては、これと同一のユーザIDに基づく再アクセスに対して提供することが禁止される。

これにより、機能提供モジュールが不正に利用される可能性を低減することができるという効果も得られる。

〔発明10〕

さらに、発明10のデバイス管理システムは、発明8のデバイス管理システムにおいて、

前記デバイス管理端末は、さらに、前記機能提供モジュールの提供を制限する提供制限手段を有し、

前記提供制限手段は、前記各ユーザIDごとに前記機能提供モジュールの提供範囲を規定し、前記ユーザIDに基づき前記ネットワークデバイスに提供した機能提供モジュールと同一の機能提供モジュールについては、そのユーザIDに対応する提供範囲を超えた提供を禁止するようになっていることを特徴とする。

【0031】

このような構成であれば、デバイス管理端末では、提供制限手段により、ユーザIDに基づきネットワークデバイスに提供した機能提供モジュールと同一の機能提供モジュールについては、そのユーザIDに対応する提供範囲を超えた提供が禁止される。

これにより、機能提供モジュールが不正に利用される可能性を低減することができるという効果も得られる。また、企業ごと異なる機能の一括納品を比較的確実に行うことができるという効果も得られる。

〔発明11〕

一方、上記目的を達成するために、発明11のデバイス管理端末は、

発明2のデバイス管理システムにおけるネットワークデバイスに通信可能に接続する端末であって、

前記ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを記憶するためのモジュール記憶手段と、前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信するデバイス情報受信手段と、前記デバイス情報受信手段で受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定する機能選定手段と、前記機能選定手段で選定した機能に対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出すモジュール読出手段と、前記モジュール読出手段で読み出した機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信するモジュール送信手段とを備えることを特徴とする。

【0032】

このような構成であれば、発明2のデバイス管理システムにおけるデバイス管理端末ラムと同等の作用が得られる。したがって、発明2のデバイス管理システムと同等の効果が得られる。また、ユーザごとに異なるカスタマイズ製品が提供可能となるという効果も得られる。

〔発明12〕

一方、上記目的を達成するために、発明12のネットワークデバイスは、
発明2のデバイス管理システムにおけるデバイス管理端末に通信可能に接続するデバイスであって、

当該に関するデバイス情報を記憶するためのデバイス情報記憶手段と、前記デバイス情報記憶手段のデバイス情報を前記デバイス管理端末に送信するデバイス情報送信手段と、当該に適用して機能を提供する機能提供モジュールを受信するモジュール受信手段と、前記モジュール受信手段で受信した機能提供モジュールを実行するモジュール実行手段とを備えることを特徴とする。

【0033】

このような構成であれば、発明2のデバイス管理システムにおけるネットワークデバイスと同等の作用が得られる。したがって、発明2のデバイス管理システムと同等の効果が得られる。

〔発明13〕

一方、上記目的を達成するために、発明13の端末用プログラムは、
コンピュータからなる発明11のデバイス管理端末ラムに実行させるためのプ

プログラムであって、

前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信するデバイス情報受信手段、前記デバイス情報受信手段で受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定する機能選定手段、前記機能選定手段で選定した機能に対応する機能提供モジュールを前記モジュール記憶手段から読み出すモジュール読出手段、および前記モジュール読出手段で読み出した機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信するモジュール送信手段として実現される処理を実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【0034】

このような構成であれば、デバイス管理端末ラムによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってデバイス管理端末ラムが処理を実行すると、発明11のデバイス管理端末ラムと同等の作用および効果が得られる。

〔発明14〕

一方、上記目的を達成するために、発明14のデバイス用プログラムは、コンピュータからなる発明12のネットワークデバイスに実行させるためのプログラムであって、

前記デバイス情報記憶手段のデバイス情報を前記デバイス管理端末に送信するデバイス情報送信手段、当該ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを受信するモジュール受信手段、および前記モジュール受信手段で受信した機能提供モジュールを実行するモジュール実行手段として実現される処理を実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【0035】

このような構成であれば、ネットワークデバイスによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってネットワークデバイスが処理を実行すると、発明12のネットワークデバイスと同等の作用および効果が得られる。

〔発明15〕

一方、上記目的を達成するために、発明15のデバイス管理方法は、ネットワークデバイスを通信可能に接続し、前記ネットワークデバイスを管理する方法であって、

前記ネットワークデバイスに関するデバイス情報を受信したときは、受信したデバイス情報に基づいて前記ネットワークデバイスが利用可能な機能を選定し、その選定結果に基づいて、前記ネットワークデバイスに適用して機能を提供する機能提供モジュールを前記ネットワークデバイスに送信することを特徴とする。

【0036】

発明1のデバイス管理システムと同等の効果が得られる。

【0037】**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。図1ないし図9は、本発明に係るデバイス管理システム、デバイス管理端末、ネットワークデバイス、端末用プログラムおよびデバイス用プログラム、並びにデバイス管理方法の実施の形態を示す図である。

【0038】

本実施の形態は、本発明に係るデバイス管理システム、デバイス管理端末、ネットワークデバイス、端末用プログラムおよびデバイス用プログラム、並びにデバイス管理方法を、図1に示すように、ネットワークデバイス200をインターネット199に接続したときにネットワークデバイス200の機能を拡張する場合について適用したものである。

【0039】

まず、本発明を適用するネットワークシステムの構成を図1を参照しながら説明する。図1は、本発明を適用するネットワークシステムの構成を示すブロック図である。

インターネット199には、図1に示すように、複数のネットワークデバイス200と、ネットワークデバイス200を管理するデバイス管理サーバ100とが接続されている。ここで、ネットワークデバイス200としては、例えば、ネットワーク対応のスキャナやプリンタがある。

【0040】

次に、デバイス管理サーバ100の構成を図2を参照しながら詳細に説明する。図2は、デバイス管理サーバ100の構成を示すブロック図である。

デバイス管理サーバ 100 は、図 2 に示すように、制御プログラムに基づいて演算およびシステム全体を制御する CPU 30 と、所定領域にあらかじめ CPU 30 の制御プログラム等を格納している ROM 32 と、ROM 32 等から読み出したデータや CPU 30 の演算過程で必要な演算結果を格納するための RAM 34 と、外部装置に対してデータの入出力を媒介する I/F 38 とで構成されており、これらは、データを転送するための信号線であるバス 39 で相互にかつデータ授受可能に接続されている。

【0041】

I/F 38 には、ユーザに関するユーザ情報およびネットワークデバイス 200 に関するデバイス情報その他の管理情報を登録する管理情報登録データベース（以下、データベースのことを単に DB と略記する。）40 と、ネットワークデバイス 200 に適用して機能を提供する機能提供モジュールを登録する機能提供モジュール登録 DB 42 と、インターネット 199 に接続するための信号線とが接続されている。

【0042】

図 3 は、管理情報登録 DB 40 のデータ構造を示す図である。

管理情報登録 DB 40 には、図 3 に示すように、各ネットワークデバイス 200 ごとにまたは各ユーザごとに 1 つのレコードが登録されている。各レコードは、ユーザを一意に特定するためのユーザ ID を登録するフィールド 410 と、ネットワークデバイス 200 の種別を一意に特定するためのデバイス種別 ID を登録するフィールド 412 と、ネットワークデバイス 200 が利用可能な機能を登録するフィールド 414 と、機能提供モジュールの適用の有無を登録するフィールド 416 とを含んで構成されている。

【0043】

図 3 の例では、第 1 段目のレコードには、ユーザ ID として「61234」が、デバイス種別 ID として「01234」が、利用可能な機能として「FAX、コピー」が、適用の有無として「1」がそれぞれ登録されている。これは、ユーザ ID 「61234」により特定されるユーザが、デバイス種別 ID 「01234」により特定される種別のネットワークデバイス 200 を所有しており、そのネットワークデバイ

ス 2 0 0 に対しては F A X 機能およびコピー機能が利用可能であり、該当の機能提供モジュールが既に適用済みであることを示している。

【 0 0 4 4 】

機能提供モジュール登録 D B 4 2 には、複数の機能提供モジュールが登録されている。機能提供モジュールは、ネットワークデバイス 2 0 0 に適用して機能を提供するプログラムモジュールであって、他のネットワークデバイス 2 0 0 と連携して提供される機能を実現するためのものである。機能提供モジュールとしては、例えば、適用対象のネットワークデバイス 2 0 0 がプリンタであり、利用可能なネットワークデバイス 2 0 0 としてスキャナが存在する場合は、プリンタとスキャナとが連携してコピー機能または F A X 機能を実現するためのプログラムモジュールがある。

【 0 0 4 5 】

一方、図 2 に戻り、C P U 3 0 は、マイクロプロセッシングユニット M P U 等からなり、R O M 3 2 の所定領域に格納されている所定のプログラムを起動させ、そのプログラムに従って、図 4 および図 5 のフローチャートに示すユーザ登録処理およびモジュール提供処理をそれぞれ時分割で実行するようになっている。

初めに、ユーザ登録処理を図 4 を参照しながら詳細に説明する。図 4 は、ユーザ登録処理を示すフローチャートである。

【 0 0 4 6 】

ユーザ登録処理は、ネットワークデバイス 2 0 0 からのユーザ登録要求に応じてユーザを登録する処理であって、C P U 3 0 において実行されると、図 4 に示すように、まず、ステップ S 1 0 0 に移行するようになっている。

ステップ S 1 0 0 では、ユーザ登録要求を受信したか否かを判定し、ユーザ登録要求を受信したと判定したとき (Yes) は、ステップ S 1 0 2 に移行するが、そうでないと判定したとき (No) は、ユーザ登録要求を受信するまでステップ S 1 0 0 で待機する。

【 0 0 4 7 】

ステップ S 1 0 2 では、デバイス情報を受信し、ステップ S 1 0 4 に移行して、受信したデバイス情報に含まれるデバイス種別 I D に基づいて、要求元のネッ

トワークデバイス 200 が利用可能な機能を選定する。具体的に、ステップ S 104 では、デバイス種別 ID と対応付けて機能を登録した機能登録テーブルを参照して、受信したデバイス種別 ID に対応する機能を選択する。

【0048】

次いで、ステップ S 106 に移行して、選定した機能が選択可能となる GUI 画面を生成し、ステップ S 108 に移行して、生成した GUI 画面を構成するための GUI 画面構成情報を要求元のネットワークデバイス 200 に送信し、ステップ S 110 に移行する。

ステップ S 110 では、GUI 画面の入力結果を受信し、受信した入力結果に基づいて GUI 画面においていずれかまたは複数の機能が選択されたか否かを判定し、いずれかまたは複数の機能が選択されたと判定したとき (Yes) は、ステップ S 112 に移行するが、そうでないと判定したとき (No) は、GUI 画面の入力結果を受信するまでステップ S 110 で待機する。

【0049】

ステップ S 112 では、GUI 画面において選択された機能が課金対象の機能であるか否かを判定し、選択された機能が課金対象の機能であると判定したとき (Yes) は、ステップ S 114 に移行して、課金を行うのに必要な個人情報をユーザに入力させるとともに課金対象の機能の利用について課金を行う課金処理を実行し、ステップ S 116 に移行する。

【0050】

ステップ S 116 では、管理情報登録 DB 40 に登録されているユーザ ID と重複することのない固有のユーザ ID を生成し、ステップ S 118 に移行して、生成したユーザ ID を要求元のネットワークデバイス 200 に送信し、ステップ S 120 に移行して、生成したユーザ ID、GUI 画面において選択された機能およびステップ S 102 で受信したデバイス情報に含まれるデバイス種別 ID を管理情報として管理情報登録 DB 40 に登録し、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

【0051】

一方、ステップ S 112 で、GUI 画面において選択された機能が課金対象の

機能でないと判定したとき(No)は、ステップ S 1 1 6 に移行する。

次に、モジュール提供処理を図 5 を参照しながら詳細に説明する。図 5 は、モジュール提供処理を示すフローチャートである。

モジュール提供処理は、ネットワークデバイス 2 0 0 からの機能拡張要求に応じて、ネットワークデバイス 2 0 0 が利用可能な機能提供モジュールを提供する処理であって、CPU 3 0 において実行されると、図 5 に示すように、まず、ステップ S 2 0 0 に移行するようになっている。

【0 0 5 2】

ステップ S 2 0 0 では、機能拡張要求を受信したか否かを判定し、機能拡張要求を受信したと判定したとき(Yes)は、ステップ S 2 0 2 に移行するが、そうでないと判定したとき(No)は、機能拡張要求を受信するまでステップ S 2 0 0 で待機する。

ステップ S 2 0 2 では、ユーザ ID を受信したか否かを判定し、ユーザ ID を受信したと判定したとき(Yes)は、ステップ S 2 0 4 に移行して、受信したユーザ ID に基づいて、要求元のネットワークデバイス 2 0 0 が利用可能な機能を選定する。具体的に、ステップ S 2 0 4 では、受信したユーザ ID と同一のユーザ ID が登録されているレコードを管理情報登録 DB 4 0 のなかから検索し、その検索により該当のレコードを索出したときは、索出したレコードにおいてフィールド 4 1 4 に登録されている機能を読み出す。

【0 0 5 3】

次いで、ステップ S 2 0 6 に移行して、選定した機能のなかに課金対象の機能が含まれているか否かを判定し、課金対象の機能が含まれていないと判定したとき(No)は、ステップ S 2 0 8 に移行して、選定した機能に対応する機能提供モジュールを機能提供モジュール登録 DB 4 2 から読み出し、ステップ S 2 1 0 に移行して、読み出した機能提供モジュールを要求元のネットワークデバイス 2 0 0 に送信し、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

【0 0 5 4】

一方、ステップ S 2 0 6 で、選定した機能のなかに課金対象の機能が含まれていると判定したとき(Yes)は、ステップ S 2 1 2 に移行して、受信したユーザ I

Dと同一のユーザIDが登録されているレコードを管理情報登録DB40のなかから検索して読み出し、ステップS214に移行する。

ステップS214では、読み出したレコードのフィールド416の登録内容に基づいて、課金対象の機能に対応する機能提供モジュールが過去において1回以上提供されているか否かを判定し、過去において1回も提供されていないと判定したとき(No)は、ステップS208に移行するが、そうでないと判定したとき(Yes)は、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

【0055】

一方、ステップS202で、ユーザIDを受信しないと判定したとき(No)は、ステップS216に移行して、デバイス種別IDを受信したか否かを判定し、デバイス種別IDを受信したと判定したとき(Yes)は、ステップS218に移行する。

ステップS218では、受信したデバイス種別IDに基づいて、要求元のネットワークデバイス200が利用可能な機能を選定する。具体的に、ステップS218では、受信したデバイス種別IDと同一のデバイス種別IDが登録されているレコードを管理情報登録DB40のなかから検索し、その検索により該当のレコードを索出したときは、索出したレコードにおいてフィールド414に登録されている機能を読み出す。

【0056】

次いで、ステップS220に移行して、選定した機能のなかに課金対象の機能が含まれているか否かを判定し、課金対象の機能が含まれていないと判定したとき(No)は、ステップS208に移行する。

一方、ステップS220で、選定した機能のなかに課金対象の機能が含まれていると判定したとき(Yes)は、ステップS222に移行して、受信したデバイス種別IDと同一のデバイス種別IDが登録されているレコードを管理情報登録DB40のなかから検索して読み出し、ステップS224に移行する。

【0057】

ステップS224では、読み出したレコードのフィールド416の登録内容に基づいて、課金対象の機能に対応する機能提供モジュールが過去において1回以

上提供されているか否かを判定し、過去において1回も提供されていないと判定したとき(No)は、ステップS208に移行するが、そうでないと判定したとき(Yes)は、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

【0058】

一方、ステップS216で、デバイス種別IDを受信しないと判定したとき(No)は、ステップS202に移行する。

次に、ネットワークデバイス200の構成を図6を参照しながら詳細に説明する。図6は、ネットワークデバイス200の構成を示すブロック図である。

ネットワークデバイス200は、図6に示すように、制御プログラムに基づいて演算およびシステム全体を制御するCPU50と、所定領域にあらかじめCPU50の制御プログラム等を格納しているROM52と、ROM52等から読み出したデータやCPU50の演算過程で必要な演算結果を格納するためのRAM54と、外部装置に対してデータの入出力を媒介するI/F58とで構成されており、これらは、データを転送するための信号線であるバス59で相互にかつデータ授受可能に接続されている。

【0059】

I/F58には、ヒューマンインターフェースとしてデータの入力可能なキーボードやマウス等からなる入力装置60と、データやテーブル等をファイルとして格納する記憶装置62と、画像信号に基づいて画面を表示する表示装置64と、インターネット199に接続するための信号線とが接続されている。その他、特に図示しないが、例えば、ネットワークデバイス200がプリンタである場合には印刷装置が、ネットワークデバイス200がスキャナである場合には画像読取装置がそれぞれI/F58に接続される。

【0060】

記憶装置62には、デバイス情報が格納されている。デバイス情報としては、例えば、デバイス種別IDのほか、ネットワークデバイス200を一意に特定するためのデバイスID、ネットワークデバイス200の性能が含まれる。

CPU50は、マイクロプロセッシングユニットMPU等からなり、ROM52の所定領域に格納されている所定のプログラムを起動させ、そのプログラムに

従って、図7および図8のフローチャートに示すユーザ登録要求処理およびモジュール取得処理をそれぞれ時分割で実行するようになっている。

【0061】

初めに、ユーザ登録要求処理を図7を参照しながら詳細に説明する。図7は、ユーザ登録要求処理を示すフローチャートである。

ユーザ登録要求処理は、図4のユーザ登録処理に対応する処理であって、CPU50において実行されると、図7に示すように、まず、ステップS300に移行するようになっている。

【0062】

ステップS300では、ネットワークデバイス200がインターネット199に接続されたか否かを判定し、インターネット199に接続されたと判定したとき(Yes)は、ステップS302に移行するが、そうでないと判定したとき(No)は、インターネット199に接続されるまでステップS300で待機する。

ステップS302では、ユーザIDが記憶装置62に記憶されているか否かを判定し、ユーザIDが記憶装置62に記憶されていないと判定したとき(No)は、ステップS304に移行して、ユーザ登録要求をデバイス管理サーバ100に送信し、ステップS306に移行する。

【0063】

ステップS306では、利用可能な他のネットワークデバイス200からデバイス情報を取得し、ステップS308に移行して、デバイス情報を記憶装置62から読み出し、ステップS310に移行して、取得したデバイス情報および読み出したデバイス情報をデバイス管理サーバ100に送信し、ステップS312に移行する。

【0064】

ステップS312では、GUI画面構成情報を受信し、ステップS314に移行して、受信したGUI画面構成情報に基づいてGUI画面を表示装置64に表示し、ステップS316に移行して、GUI画面において表示される機能のなかから機能の選択を入力し、ステップS318に移行する。

ステップS318では、GUI画面の入力結果をデバイス管理サーバ100に

送信し、ステップS320に移行して、ユーザIDを受信し、ステップS322に移行して、受信したユーザIDを記憶装置62に格納し、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

【0065】

一方、ステップS302で、ユーザIDが記憶装置62に記憶されていると判定したとき(Yes)は、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

次に、モジュール取得処理を図8を参照しながら詳細に説明する。図8は、モジュール取得処理を示すフローチャートである。

モジュール取得処理は、図5のモジュール提供処理に対応する処理であって、CPU50において実行されると、図8に示すように、まず、ステップS400に移行するようになっている。

【0066】

ステップS400では、ネットワークデバイス200がインターネット199に接続されたか否かを判定し、インターネット199に接続されたと判定したとき(Yes)は、ステップS402に移行するが、そうでないと判定したとき(No)は、インターネット199に接続されるまでステップS400で待機する。

ステップS402では、ユーザIDが記憶装置62に記憶されているか否かを判定し、ユーザIDが記憶装置62に記憶されていると判定したとき(Yes)は、ステップS404に移行して、機能拡張要求をデバイス管理サーバ100に送信し、ステップS406に移行する。

【0067】

ステップS406では、ユーザIDを記憶装置62から読み出し、ステップS408に移行して、読み出したユーザIDをデバイス管理サーバ100に送信し、ステップS410に移行する。

ステップS410では、機能提供モジュールを受信し、ステップS412に移行して、受信した機能提供モジュールを記憶装置62に格納し、ステップS414に移行して、受信した機能提供モジュールを実行し、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

【0068】

一方、ステップS402で、ユーザIDが記憶装置62に記憶されていないと判定したとき(No)は、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

次に、本実施の形態の動作を説明する。

ネットワークデバイス200であるプリンタをインターネット199に接続すると、ネットワークデバイス200では、初期状態において記憶装置62にユーザIDが記憶されていないので、ステップS304を経て、ユーザ登録要求がデバイス管理サーバ100に送信される。そして、ステップS306～S310を経て、利用可能な他のネットワークデバイス200からデバイス情報が取得され、デバイス情報が記憶装置62から読み出され、取得されたデバイス情報および読み出されたデバイス情報がデバイス管理サーバ100に送信される。

【0069】

デバイス管理サーバ100では、ユーザ登録要求とともにデバイス情報を受信すると、ステップS104～S108を経て、受信したデバイス情報に含まれるデバイス種別IDに基づいて、ネットワークデバイス200が利用可能な機能が選定され、選定された機能が選択可能となるGUI画面が生成され、生成されたGUI画面を構成するためのGUI画面構成情報がネットワークデバイス200に送信される。

【0070】

図9は、利用可能な機能が選択可能となるGUI画面を示す図である。

ネットワークデバイス200では、GUI画面構成情報を受信すると、ステップS314を経て、受信したGUI画面構成情報に基づいて、図9に示すように、利用可能な機能が選択可能となるGUI画面が表示装置64に表示される。ここで、ユーザは、GUI画面において表示されている機能のなかから所望するいずれかまたは複数の機能を入力装置60により選択する。図9の例では、利用可能な機能として、「FAX」、「プリンタ管理」、「コピー」および「プリンタメンテナンス」が表示されており、ユーザは、これら機能のうち「プリンタ管理」を選択している。機能の選択が入力されると、ステップS318を経て、GUI画面の入力結果がデバイス管理サーバ100に送信される。

【0071】

デバイス管理サーバ100では、GUI画面の入力結果を受信すると、ステップS112を経て、GUI画面において選択された機能が課金対象の機能であるか否かが判定される。その結果、課金対象の機能であると判定されると、ステップS114～S118を経て、課金処理が実行され、ユーザIDが生成され、生成されたユーザIDがネットワークデバイス200に送信される。そして、ステップS120を経て、生成されたユーザID、GUI画面において選択された機能および受信したデバイス情報に含まれるデバイス種別IDが管理情報として管理情報登録DB40に登録される。

【0072】

ネットワークデバイス200では、ユーザIDを受信すると、ステップS322を経て、受信したユーザIDが記憶装置62に格納される。

また、ユーザIDが記憶装置62に記憶されている状態でネットワークデバイス200をインターネット199に接続すると、ネットワークデバイス200では、ステップS404～S408を経て、機能拡張要求がデバイス管理サーバ100に送信され、ユーザIDが記憶装置62から読み出され、読み出されたユーザIDがデバイス管理サーバ100に送信される。

【0073】

デバイス管理サーバ100では、機能拡張要求とともにユーザIDを受信すると、ステップS204，S206を経て、受信したユーザIDに基づいて、ネットワークデバイス200が利用可能な機能が選定され、選定された機能のなかに課金対象の機能が含まれているか否かが判定される。その結果、課金対象の機能が含まれていないと判定されると、ステップS208，S210を経て、選定された機能に対応する機能提供モジュールが機能提供モジュール登録DB42から読み出され、読み出された機能提供モジュールがネットワークデバイス200に送信される。

【0074】

ネットワークデバイス200では、機能提供モジュールを受信すると、ステップS512，S514を経て、受信した機能提供モジュールが記憶装置62に格納され、受信した機能提供モジュールが実行されることにより機能が実現される。

。

一方、デバイス管理サーバ100では、選定された機能のなかに課金対象の機能が含まれていると判定されると、ステップS212，S214を経て、受信したユーザIDと同一のユーザIDが登録されているレコードが管理情報登録DB40のなかから検索されて読み出され、読み出されたレコードのフィールド416の登録内容に基づいて、課金対象の機能に対応する機能提供モジュールが過去において1回以上提供されているか否かが判定される。その結果、過去において1回も提供されていないと判定されると、ステップS208，S210を経て、選定された機能に対応する機能提供モジュールが機能提供モジュール登録DB42から読み出され、読み出された機能提供モジュールがネットワークデバイス200に送信される。

【0075】

一方、デバイス管理サーバ100では、選定された機能のなかに課金対象の機能が含まれている場合に、その機能に対応する機能提供モジュールが過去において1回以上提供されていると判定されると、該当の機能提供モジュールの送信は行われない。

このようにして、本実施の形態では、デバイス管理サーバ100は、デバイス情報を受信したときは、受信したデバイス情報に基づいてネットワークデバイス200が利用可能な機能を選定し、選定した機能に対応する機能提供モジュールを機能提供モジュール登録DB42から読み出し、読み出した機能提供モジュールをネットワークデバイス200に送信するようになっており、ネットワークデバイス200は、記憶装置62のデバイス情報をデバイス管理サーバ100に送信し、機能提供モジュールを受信したときは、受信した機能提供モジュールを実行するようになっている。

【0076】

これにより、ネットワークデバイス200をインターネット199に接続するだけで、利用可能な機能を実現するための機能提供モジュールがそのネットワークデバイス200に組み込まれるので、従来に比して、専門的な知識をさほど要せずにネットワークデバイス200の機能を比較的容易に変更することができる。

とともに、機能提供モジュールの組込操作が簡単となるので、機能変更に要する手間や時間を比較的低減することができる。

【0077】

また、顧客の要求に応じて機能を個別にカスタマイズしたネットワークデバイス200を設計しようとした場合には、一般的な機能を実現するハードウェアおよびソフトウェアをあらかじめ開発し、それを組み込んだネットワークデバイス200を量産しておく。そして、顧客からの要望があったときは、要求分析および仕様検討を行い、一般的な機能以外の個別の機能が必要な場合は、その機能をソフトウェアにて実現する。すなわち、要求分析および仕様検討の後は、個別の機能を実現するための機能提供モジュールを作成すればよいことになる。

【0078】

これにより、ソフトウェア開発の一部およびハードウェア開発を顧客からの要望がある前に行うことができるので、従来に比して、納期の短縮化を図ることができる。

さらに、本実施の形態では、機能提供モジュールは、他のネットワークデバイス200と連携して提供される機能を実現するためのモジュールである。

【0079】

これにより、他のネットワークデバイス200と連携して提供される機能を利用するにあたって、ユーザは、専門的な知識をさほど必要としないので、他のネットワークデバイス200と連携して提供される機能を比較的容易に利用することができる。

さらに、本実施の形態では、ネットワークデバイス200は、利用可能な他のネットワークデバイス200からデバイス情報を取得し、記憶装置62のデバイス情報および取得したデバイス情報をデバイス管理サーバ100に送信するようになっている。

【0080】

これにより、他のネットワークデバイス200と連携して提供される機能を利用するにあたって、ユーザは、他のネットワークデバイス200に関する情報を入手しなくともすむので、他のネットワークデバイス200と連携して提供され

る機能をさらに容易に利用することができる。

さらに、本実施の形態では、デバイス管理サーバ100は、選定した機能のなかからいずれかまたは複数の機能をユーザに選択させ、選択された機能に対応する機能提供モジュールを機能提供モジュール登録DB42から読み出すようになっている。

【0081】

これにより、ネットワークデバイス200が利用可能な機能のなかからユーザが所望するものを選択すればよいので、ネットワークデバイス200の機能をさらに容易に変更することができる。

さらに、本実施の形態では、デバイス管理サーバ100は、選定した機能のなかからいずれかまたは複数の機能が選択可能となるGUI画面を生成し、生成したGUI画面をユーザに提示していずれかまたは複数の機能を選択させるようになっている。

【0082】

これにより、ユーザは、GUI画面において機能を選択することができるので、機能の選択を比較的容易に行うことができる。

さらに、本実施の形態では、デバイス管理サーバ100は、デバイス種別IDと対応付けて機能を登録した機能登録テーブルに基づいて、ネットワークデバイス200が利用可能な機能を選定するようになっている。

【0083】

これにより、ネットワークデバイス200の種別単位で機能提供モジュールを管理することができるので、ネットワークデバイス200の種別に応じて比較的適切な機能を提供することができる。

さらに、本実施の形態では、デバイス管理サーバ100は、ユーザIDを受信したときは、受信したユーザIDに対応する機能提供モジュールを機能提供モジュール登録DB42から読み出し、読み出した機能提供モジュールをネットワークデバイス200に送信するようになっており、ネットワークデバイス200は、記憶装置62のユーザIDをデバイス管理サーバ100に送信するようになっている。

【0084】

これにより、ネットワークデバイス200およびデバイス管理サーバ100の両方に共通のユーザIDを登録しておくだけで、利用可能な機能を実現するための機能提供モジュールがそのネットワークデバイス200に組み込まれるので、ネットワークデバイス200の機能をさらに容易に変更することができるとともに、機能提供モジュールの組込操作が簡単となるので、機能変更に要する手間や時間をさらに低減することができる。

【0085】

さらに、本実施の形態では、デバイス管理サーバ100は、ユーザIDに基づきネットワークデバイス200に提供した機能提供モジュールについては、これと同一のユーザIDに基づく再アクセスに対して提供することを禁止するようになっている。

これにより、機能提供モジュールが不正に利用される可能性を低減することができる。

【0086】

上記実施の形態において、デバイス管理サーバ100は、発明2、4、5、8ないし12または14のデバイス管理端末に対応し、機能提供モジュール登録DB42は、発明2、5、8、11または13のモジュール記憶手段に対応し、記憶装置62は、発明2、4、12若しくは14のデバイス情報記憶手段、または発明8のユーザID記憶手段に対応している。また、ステップS102は、発明2、11または13のデバイス情報受信手段に対応し、ステップS104は、発明2、5ないし7、11または13の機能選定手段に対応し、ステップS106～S110は、発明5または6の機能選択手段に対応している。

【0087】

また、上記実施の形態において、ステップS202は、発明8のユーザID受信手段に対応し、ステップS208は、発明2、5、11若しくは13のモジュール読出手段、または発明8の第2モジュール読出手段に対応し、ステップS210は、発明2、11若しくは13のモジュール送信手段、または発明8の第2モジュール送信手段に対応している。また、ステップS212、S214、S2

2 0, S 2 2 2 は、発明 9 または 1 0 の提供制限手段に対応し、ステップ S 3 0 6 は、発明 4 のデバイス情報取得手段に対応し、ステップ S 3 1 0 は、発明 2、4、1 2 または 1 4 のデバイス情報送信手段に対応している。

【0 0 8 8】

また、上記実施の形態において、ステップ S 4 0 8 は、発明 8 のユーザ I D 送信手段に対応し、ステップ S 4 1 0 は、発明 2、1 2 または 1 4 のモジュール受信手段に対応し、ステップ S 4 1 4 は、発明 2、1 2 または 1 4 のモジュール実行手段に対応している。

なお、上記実施の形態において、ネットワークデバイス 2 0 0 は、図 8 のフローチャートに示すモジュール取得処理を実行するように構成したが、これに代えて、図 1 0 のフローチャートに示すモジュール取得処理を実行するように構成することもできる。

【0 0 8 9】

図 1 0 は、モジュール取得処理を示すフローチャートである。

このモジュール取得処理は、C P U 5 0 において実行されると、図 1 0 に示すように、まず、ステップ S 5 0 0 に移行するようになっている。

ステップ S 5 0 0 では、ネットワークデバイス 2 0 0 がインターネット 1 9 9 に接続されたか否かを判定し、インターネット 1 9 9 に接続されたと判定したとき(Yes)は、ステップ S 5 0 2 に移行するが、そうでないと判定したとき(No)は、インターネット 1 9 9 に接続されるまでステップ S 5 0 0 で待機する。

【0 0 9 0】

ステップ S 5 0 2 では、ユーザ I D が記憶装置 6 2 に記憶されているか否かを判定し、ユーザ I D が記憶装置 6 2 に記憶されていると判定したとき(Yes)は、ステップ S 5 0 4 に移行して、機能拡張要求をデバイス管理サーバ 1 0 0 に送信し、ステップ S 5 0 6 に移行する。

ステップ S 5 0 6 では、デバイス情報を記憶装置 6 2 から読み出し、ステップ S 5 0 8 に移行して、読み出したデバイス情報をデバイス管理サーバ 1 0 0 に送信し、ステップ S 5 1 0 に移行する。

【0 0 9 1】

ステップS510では、機能提供モジュールを受信し、ステップS512に移行して、受信した機能提供モジュールを記憶装置62に格納し、ステップS514に移行して、受信した機能提供モジュールを実行し、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

一方、ステップS502で、ユーザIDが記憶装置62に記憶されていないと判定したとき(No)は、一連の処理を終了して元の処理に復帰させる。

【0092】

このような構成であれば、ユーザIDが記憶装置62に記憶されている状態でネットワークデバイス200をインターネット199に接続すると、ネットワークデバイス200では、ステップS504～S508を経て、機能拡張要求がデバイス管理サーバ100に送信され、デバイス情報が記憶装置62から読み出され、読み出されたデバイス情報がデバイス管理サーバ100に送信される。

【0093】

デバイス管理サーバ100では、機能拡張要求とともにデバイス情報を受信すると、ステップS218、S220を経て、受信したデバイス情報に基づいて、ネットワークデバイス200が利用可能な機能が選定され、選定された機能のなかに課金対象の機能が含まれているか否かが判定される。その結果、課金対象の機能が含まれていないと判定されると、ステップS208、S210を経て、選定された機能に対応する機能提供モジュールが機能提供モジュール登録DB42から読み出され、読み出された機能提供モジュールがネットワークデバイス200に送信される。

【0094】

ネットワークデバイス200では、機能提供モジュールを受信すると、ステップS512、S514を経て、受信した機能提供モジュールが記憶装置62に格納され、受信した機能提供モジュールが実行されることにより機能が実現される。

これにより、上記実施の形態と同等の効果が得られる。

【0095】

また、上記実施の形態において、デバイス管理サーバ100は、選定した機能

のなかからいずれかまたは複数の機能が選択可能となる G U I 画面を生成し、生成した G U I 画面をユーザに提示していずれかまたは複数の機能を選択させるように構成したが、これに限らず、図 1 1 に示すように、選定した機能のなかからいずれかまたは複数の機能が選択可能となるハガキその他の郵送物を作成し、郵送物の返送結果を読み取ってユーザの選択結果を入力するように構成することもできる。

【0 0 9 6】

図 1 1 は、利用可能な機能が選択可能となるハガキ面を示す図である。

図 1 1 の例では、利用可能な機能として、「F A X」、「プリンタ管理」、「コピー」および「プリンタメンテナンス」がハガキ面に印刷されており、ユーザは、これら機能のうち「コピー」を選択している。

また、上記実施の形態においては、図 4 および図 5 のフローチャートに示す処理をデバイス管理サーバ 1 0 0 の機能として実現するように構成したが、これに限らず、複数のネットワークデバイス 2 0 0 のうちいずれかのものの機能として実現するように構成することもできる。

【0 0 9 7】

この場合、図 4 および図 5 のフローチャートに示す処理を実現するためのプログラムを機能提供モジュールとして構成し、ネットワークデバイス 2 0 0 は、その機能提供モジュールを外部から取得して実行するように構成してもよい。これにより、デバイス管理サーバ 1 0 0 を設ける必要なく、特別なネットワークデバイス 2 0 0 を設計せずに一般のネットワークデバイス 2 0 0 で対応することができるので、低コスト化を図ることができる。

【0 0 9 8】

また、上記実施の形態においては、ネットワークデバイス 2 0 0 として、ネットワークスキャナおよびネットワークプリンタを例示したが、これに限らず、例えば、ホームゲートウェイ、ネットワーク対応のプロジェクト、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、パソコン、P D A (Personal Digital Assistant)、ネットワークストレージ、オーディオ機器、携帯電話、P H S (登録商標) (Personal Handyphone System)、ウォッチ型 P D A、P O S (Point Of Sale

）端末、コピー機、FAX機、電話（IP電話等も含む。）、交換機、NCU（Network Control Unit）、その他ネットワーク対応の機器を用いることができる。

【0099】

また、上記実施の形態において、図4および図5のフローチャートに示す処理を実行するにあたってはいずれも、ROM32にあらかじめ格納されている制御プログラムを実行する場合について説明したが、これに限らず、これらの手順を示したプログラムが記憶された記憶媒体から、そのプログラムをRAM34に読み込んで実行するようにしてもよい。

【0100】

また、上記実施の形態において、図7、図8および図10のフローチャートに示す処理を実行するにあたってはいずれも、ROM52にあらかじめ格納されている制御プログラムを実行する場合について説明したが、これに限らず、これらの手順を示したプログラムが記憶された記憶媒体から、そのプログラムをRAM54に読み込んで実行するようにしてもよい。

【0101】

ここで、記憶媒体とは、RAM、ROM等の半導体記憶媒体、FD、HD等の磁気記憶型記憶媒体、CD、CDV、LD、DVD等の光学的読取方式記憶媒体、MO等の磁気記憶型／光学的読取方式記憶媒体であって、電子的、磁氣的、光学的等の読み取り方法のいかににかかわらず、コンピュータで読み取り可能な記憶媒体であれば、あらゆる記憶媒体を含むものである。

【0102】

また、上記実施の形態においては、本発明に係るデバイス管理システム、デバイス管理端末、ネットワークデバイス、端末用プログラムおよびデバイス用プログラム、並びにデバイス管理方法を、インターネット199からなるネットワークシステムに適用した場合について説明したが、これに限らず、例えば、インターネット199と同一方式により通信を行ういわゆるイントラネットに適用してもよい。もちろん、インターネット199と同一方式により通信を行うネットワークに限らず、通常のネットワークに適用することもできる。

【0103】

また、上記実施の形態においては、本発明に係るデバイス管理システム、デバイス管理端末、ネットワークデバイス、端末用プログラムおよびデバイス用プログラム、並びにデバイス管理方法を、図1に示すように、ネットワークデバイス200をインターネット199に接続したときにネットワークデバイス200の機能を拡張する場合について適用したが、これに限らず、本発明の主旨を逸脱しない範囲で他の場合にも適用可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明を適用するネットワークシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】 デバイス管理サーバ100の構成を示すブロック図である。

【図3】 管理情報登録DB40のデータ構造を示す図である。

【図4】 ユーザ登録処理を示すフローチャートである。

【図5】 モジュール提供処理を示すフローチャートである。

【図6】 ネットワークデバイス200の構成を示すブロック図である。

【図7】 ユーザ登録要求処理を示すフローチャートである。

【図8】 モジュール取得処理を示すフローチャートである。

【図9】 利用可能な機能が選択可能となるGUI画面を示す図である。

【図10】 モジュール取得処理を示すフローチャートである。

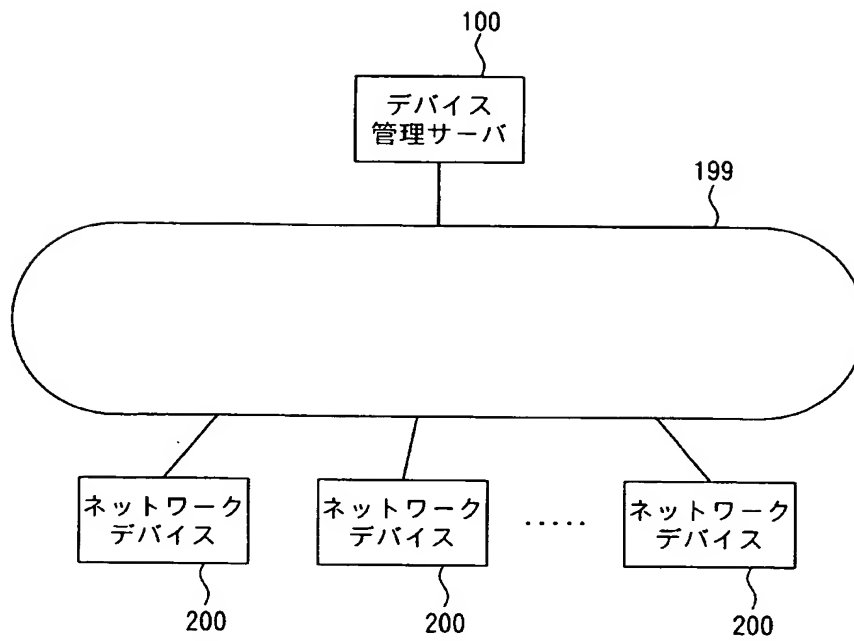
【図11】 利用可能な機能が選択可能となるハガキ面を示す図である。

【符号の説明】

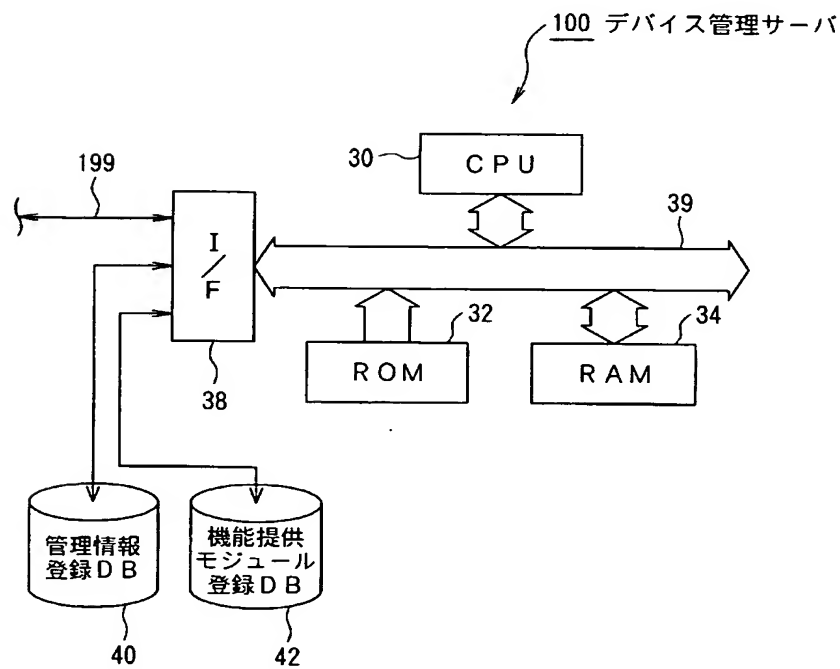
100…デバイス管理サーバ、30…CPU、32…ROM、34…RAM、38…I/F、40…管理情報登録DB、42…機能提供モジュール登録DB、200…ネットワークデバイス、50…CPU、52…ROM、54…RAM、58…I/F、60…入力装置、62…記憶装置、64…表示装置、199…インターネット

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

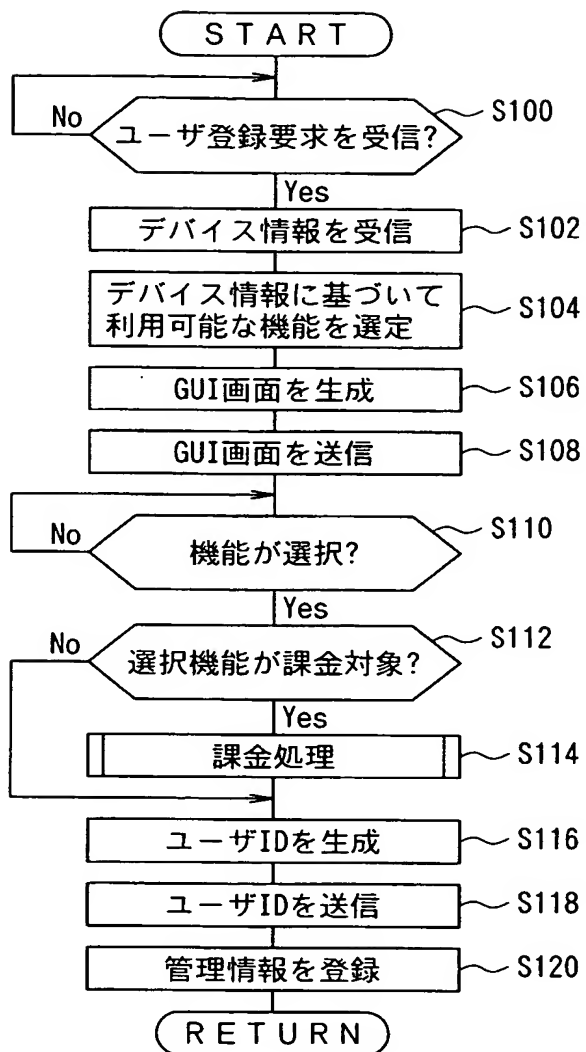


【図 3】

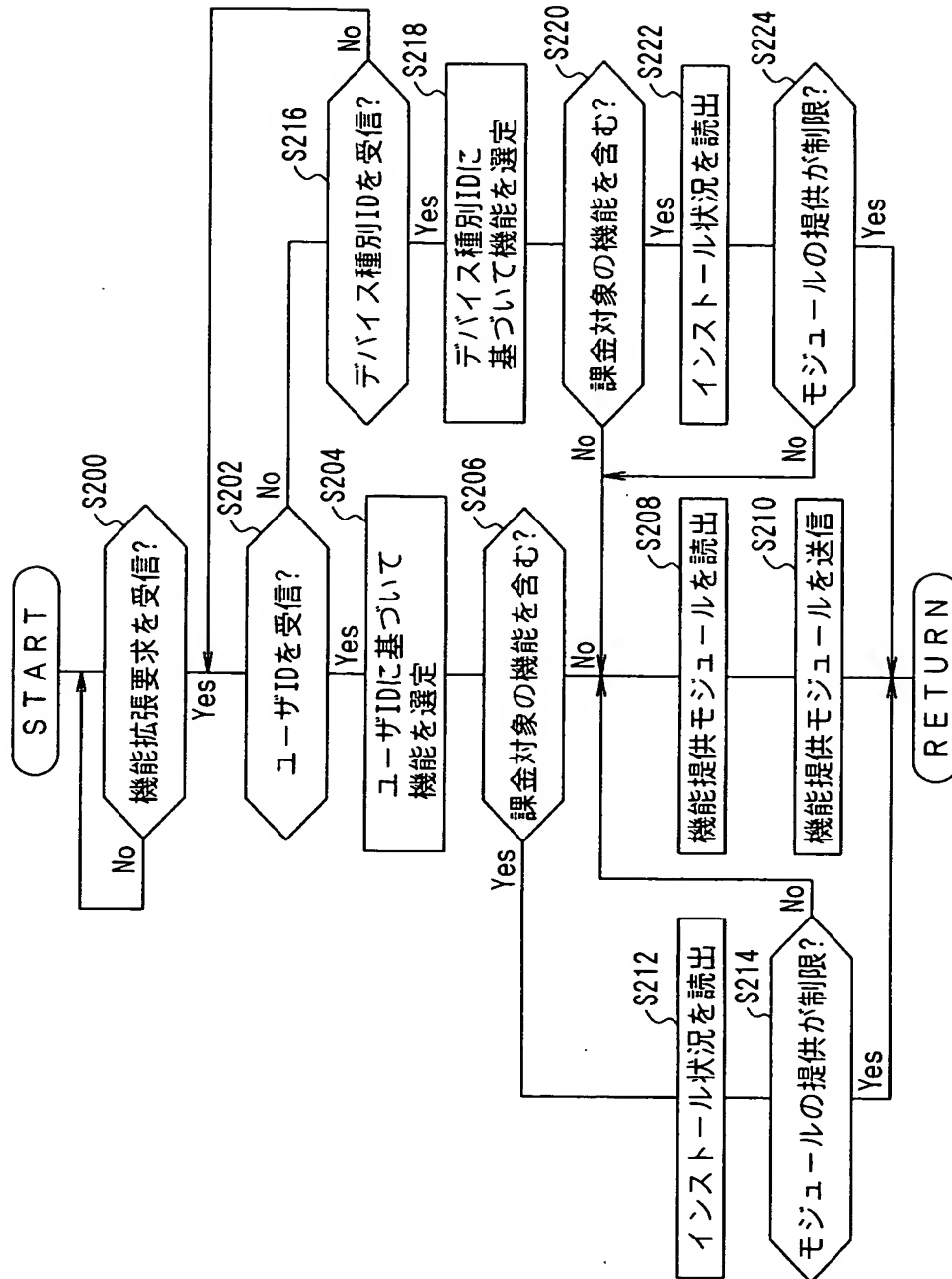
40 管理情報登録DB

410	412	414	416
ユーザID	デバイス種別ID	機能	インストール状況
61234	01234	Fax, コピー	1
54838	A49KI	DSC印刷	0
—	547KF	メンテナンス	1
⋮	⋮	⋮	⋮

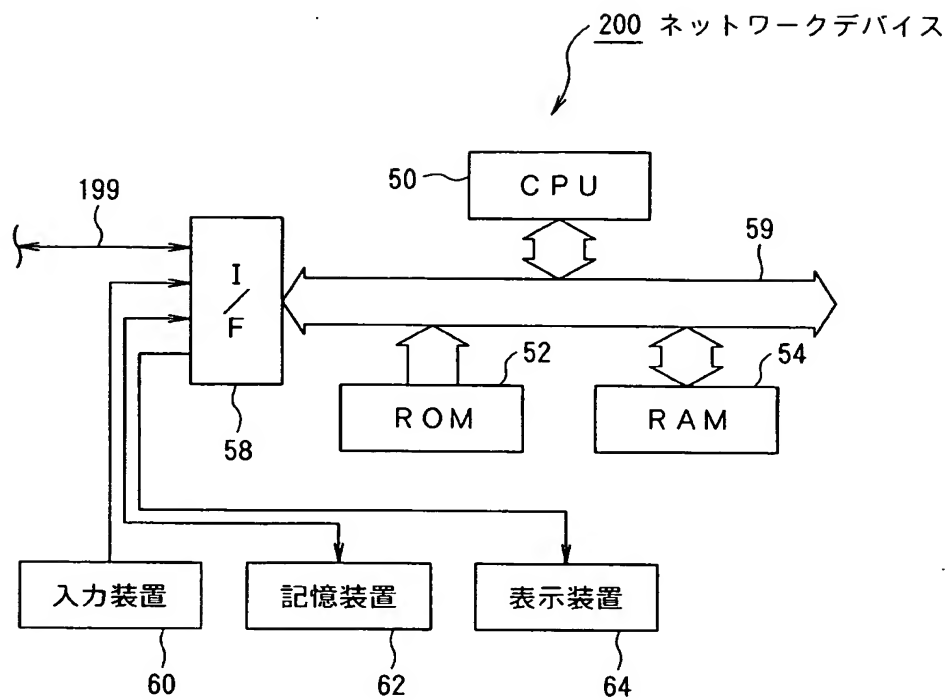
【図 4】



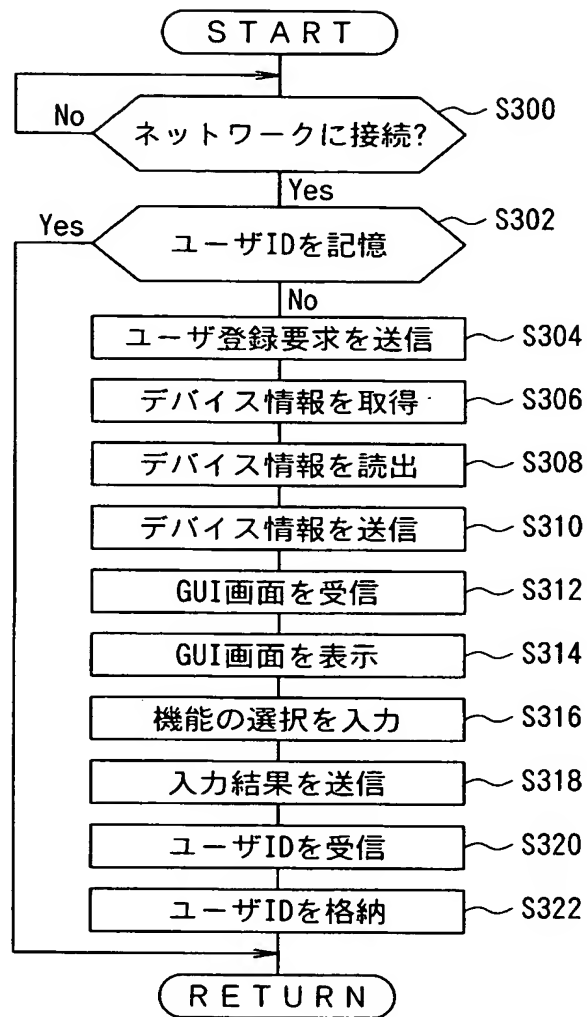
【図 5】



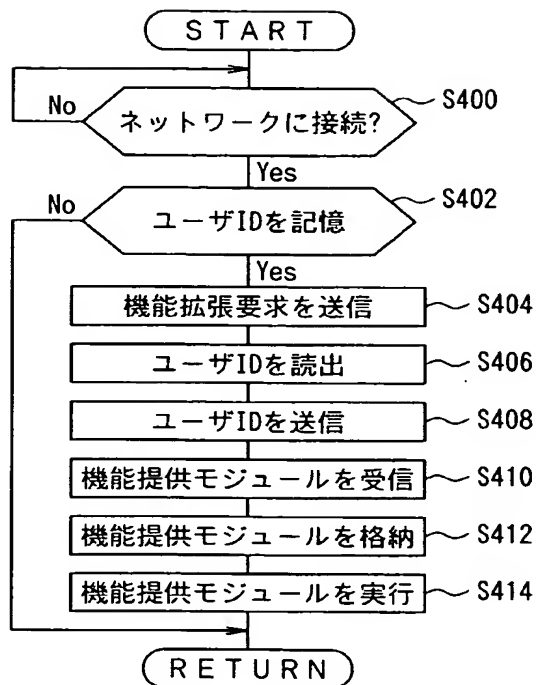
【図 6】



【図 7】



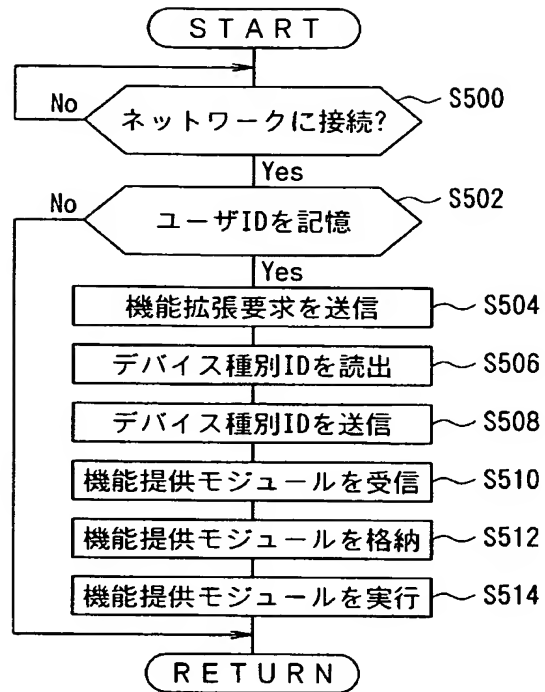
【図 8】



【図 9】

プリンタ機能選択メニュー
プリンタ I D : 01234456
ネットワーク接続機器 : A 社 P D A , B 社 スキャナ
利用可能機能 :
<input type="checkbox"/> F a x
<input checked="" type="checkbox"/> プリンタ管理
<input type="checkbox"/> コピー
<input type="checkbox"/> プリンタメンテナンス

【図 10】



【図 11】

プリンタ機能カスタマイズ登録はがき
お客様のお名前: 山田 太郎
プリンタ機種: A社O12Zプリンタ
要求機能:
<input type="checkbox"/> Fax
<input type="checkbox"/> プリンタ管理
<input checked="" type="checkbox"/> コピー
<input type="checkbox"/> プリンタメンテナンス
後日、登録IDを送付致します。




【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 専門的な知識を要せずにネットワークデバイスの機能を変更することができるとともに、機能変更に要する手間や時間を低減することができ、しかも納期の短縮化を図るのに好適なデバイス管理システムを提供する。

【解決手段】 デバイス管理サーバ 1 0 0 は、デバイス情報を受信したときは、受信したデバイス情報に基づいてネットワークデバイス 2 0 0 が利用可能な機能を選定し、選定した機能に対応する機能提供モジュールを機能提供モジュール登録 DB 4 2 から読み出し、読み出した機能提供モジュールをネットワークデバイス 2 0 0 に送信する。ネットワークデバイス 2 0 0 は、記憶装置 6 2 のデバイス情報をデバイス管理サーバ 1 0 0 に送信し、機能提供モジュールを受信したときは、受信した機能提供モジュールを実行する。

【選択図】 図 1



特願 2 0 0 2 - 3 6 0 8 7 8

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 2 3 6 9]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 0 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都新宿区西新宿 2 丁目 4 番 1 号

氏 名

セイコーエプソン株式会社